

「JENESYS2.0」

2016年度中国高校生訪日団第2陣Bコース（テーマ：社会福祉）

訪問日程 平成28年10月25日（火）～11月2日（水）

1 プログラム概要

中国教育部が派遣した2016年度中国高校生訪日団第2陣Bコース計125名が、10月25日から11月2日までの8泊9日の日程で来日しました。（副団長：謝才波（シェ ツァイポー）浙江省教育庁 幹部処 副処長）

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、訪日団は、東京都をはじめ、京都府、兵庫県、愛知県、岡山県、長崎県、福岡県を訪問し、「クールジャパン」を含め、さまざまな分野における日本の魅力、強みを体感したほか、高校や大学の訪問・交流を通じて、同世代の青少年同士の友好交流と相互理解を深めました。

2 日程

10月25日（火）

第1分団：成田国際空港より入国

第2・3・4分団：羽田国際空港より入国、浅草寺・仲見世通り参観

共通：オリエンテーション

10月26日（水）

社会福祉に関する講義、大東文化大学訪問、歓迎会

10月27日（木）

第1分団：京都府へ移動、京都市ふしみ学園視察、伏見稲荷大社参観

第2・3分団：岡山県へ移動、倉敷美観地区視察（「おもてなしマイスター制度」に関する講義、見学）、商業施設視察

第4分団：長崎県へ移動、長崎原爆資料館・平和公園参観

10月28日（金）

第1分団：商業施設視察、学校交流（京都府立綾部高等学校）、兵庫県へ移動

第2分団：後樂園視察、学校交流（岡山県立林野高等学校）、体験プログラム（ホームステイ）

第3分団：学校交流（金光学園中学・高等学校）

第4分団：学校交流（長崎県立佐世保北高等学校）

10月29日（土）

第1分団：体験プログラム（ホームステイ・兵庫県神戸市）

第2分団：体験プログラム（ホームステイ・岡山県津山市）

第3分団：体験プログラム（民泊・岡山県瀬戸内市）

第4分団：福岡県へ移動、商業施設視察、太宰府天満宮参観、体験プログラム（民泊・福岡県朝倉市）

10月30日（日）

第1分団：体験プログラム（ホームステイ）、ホストファミリー歓送会、愛知県へ移動

第2分団：体験プログラム（ホームステイ）、京都府へ移動、金閣寺参観、ワークショップ

第3分団：体験プログラム（民泊）、ホストファミリー歓送会、京都府へ移動、清水寺参観

第4分団：体験プログラム（民泊）、ホストファミリー歓送会、福祉用具プラザ北九州視察

10月31日（月）

第1分団：学校交流（名古屋市立名古屋商業高等学校）、ワークショップ

第2分団：学校交流（京都府立南陽高等学校）

第3分団：ワークショップ、学校交流（京都府立北嵯峨高等学校）

第4分団：学校交流（福岡県立北筑高等学校）、小倉城庭園参観・体験プログラム（お茶体験）、安川電機みらい館視察、ワークショップ

11月1日（火）

共通：東京へ移動、歓送報告会

11月2日（水）

第1分団：浅草寺・仲見世通り参観、羽田空港より帰国

第2・3・4分団：羽田空港より帰国

3 写真

<共通>



10月26日 社会福祉に関する講義
講師：呉 裁喜 大東文化大学 文学部教育学科
准教授（東京都）

10月26日 社会福祉に関する講義
質疑応答（東京都）



10月26日 大東文化大学訪問
（東京都）

10月26日 大東文化大学訪問
キャンパスツアー（東京都）



10月26日 歓迎会 中国高校生パフォーマンス
(東京都)



10月26日 歓迎会 中国高校生パフォーマンス
(東京都)



11月1日 歓送報告会 謝才波副団長挨拶(東京都)



11月1日 歓送報告会 訪日成果報告(東京都)

<第1分団>



10月27日 京都市ふしみ学園視察(京都府)



10月28日 京都府立綾部高校訪問・交流(京都府)



10月28日 京都府立綾部高校訪問・交流(京都府)



10月29日 体験プログラム(ホームステイ)
(兵庫県)



10月30日 ホストファミリー一歓送会(兵庫県)



10月31日 名古屋市立名古屋商業高校訪問・交流
(愛知県)



10月31日 名古屋市立名古屋商業高校訪問・交流
(愛知県)



10月31日 ワークショップ(愛知県)

<第2分団>



10月27日 倉敷美観地区視察
「おもてなしマイスター制度」講義（岡山県）



10月27日 倉敷美観地区視察（岡山県）



10月28日 岡山県立林野高校訪問・交流（岡山県）



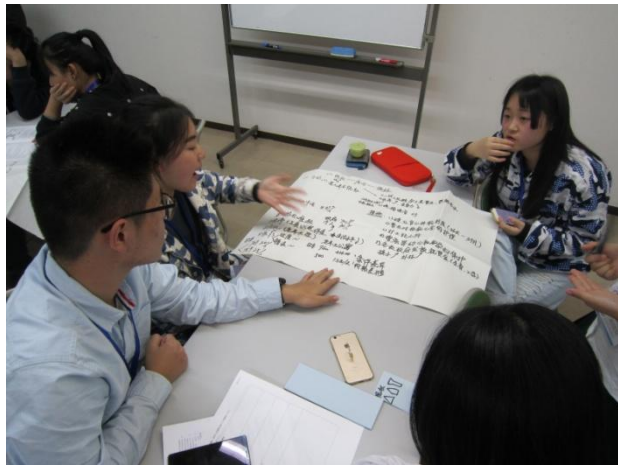
10月28日 岡山県立林野高校訪問・交流（岡山県）



10月28日 体験プログラム（ホームステイ）
（岡山県）



10月28日 体験プログラム（ホームステイ歓送会）
（岡山県）



10月30日 ワークショップ(京都府)



10月31日 京都府立南陽高校訪問・交流(京都府)



10月31日 京都府立南陽高校訪問・交流(京都府)

<第3分団>



10月27日 倉敷美観地区視察(岡山県)



10月28日 金光学園中学・高校訪問・交流(岡山県)



10月28日 金光学園中学・高校訪問・交流
(岡山県)



10月29日 ホームステイ対面式(岡山県)



10月29日 体験プログラム(民泊)(岡山県)



10月30日 ホストファミリー歓送会(岡山県)



10月30日 清水寺参観(京都府)



10月31日 京都府立北嵯峨高校訪問・交流(京都府)



10月31日 京都府立北嵯峨高校訪問・交流(京都府)



10月31日 ワークショップ(京都府)

<第4分団>



10月27日 長崎原爆資料館・平和公園参観(長崎県)



10月28日 長崎県立佐世保北高校訪問・交流(長崎県)



10月28日 長崎県立佐世保北高校訪問・交流(長崎県)



10月29日 体験プログラム(民泊)(福岡県)



10月30日 ホストファミリー歓送会(福岡県)



10月30日 福祉用具プラザ北九州視察(福岡県)



10月31日 福岡県立北筑高校訪問・交流(福岡県)



10月31日 福岡県立北筑高校訪問・交流(福岡県)



10月31日 小倉城庭園参観・お茶体験(福岡県)



10月31日 安川電機みらい館参観(福岡県)



10月31日 ワークショップ（福岡県）

4 参加者の感想（抜粋）

○今回の交流プログラムに参加して、日本に対する理解を深めることができました。時間を守ること、列を並ぶことに感心させられました。

○訪日期間中、学校交流や福祉に関する講義を通じ、多くのことを学びました。この交流プログラムを通じて、見聞が広がりました。日本の独特文化の魅力を感じました。今後も機会がありましたら、また日本に来たいと考えています。

○私が最も深く印象に残ったことは、ホームステイでした。ホストファミリーは、私たちを周到かつ、温かくもてなしてくれました。私たちに会うと、すぐに水族館に連れて行ってくれ、様々な魚を見ることができました。午後は、私たちを買い物に連れて行ってくれ、お気に入りの商品を手に入れることができ、とても嬉しかったです。また、私たちに地元の民俗、民情を体験させてくれました。多くの知識を得ることができました。帰国後、周りの友達に日本で見聞きしたことを伝えたいと思います。

○岡山に着いてからは、一分一秒、いつも涙が出るほど感動していました。岡山の皆さんはとても優しく、温かく、友好的でした。ホームステイ先では、バスタオルから電気カーペット、エアコンに至るまで、正に「全てが行き届いている」と言っても良いくらいで、洗面台の紙コップには私たちの名前が書かれていました。小さな書き間違いこそあったけれど、一文字一文字、とても丁寧に書かれていました。私たちがホームステイを終えて帰る時、おばあちゃんが中国語と英語で手紙を書いてくれて、また「写真を学校に送るから」と言ってくださいました。

○今回の訪問で最も印象深いことは、京都の南陽高校訪問です。日本の授業は、色々と中国とは違いました。教え方も一つではなく、先生によって違います。クラスの雰囲気は活発で、学生は積極的に答え、礼儀正しくもありました。放課後の部活動も種類が豊富で、各自の趣味に基づいて入部でき、充実した時間を過ごすのです。また、お昼には、日本の学生は色とりどりのお弁当を持参しており、見ているだけで、よだれが出そうでした。中国の学校の昼食とは違うので、経験できて、とても楽しかったです。

○ホームステイにおいて、とても印象深かったことがあります。中国では食事の時に多くの親が子供に、「お

椀を持って食べなさい」と言いますが、子供は言うことを聞きません。私もそうでした。だから日本の家庭に泊まった時に、ホストファミリーから「食事のときはお椀を持ちなさい」と言われ、とても後悔しました。自宅にいる時にも同じルールがあったのに、日本に来てまで、このことを教えられるとは、恥ずかしい限りです。

帰国後に、周囲の人々に、「日本はとても良い国だから、ぜひ見てみるといいよ、きっと好きになるよ」と伝えたいと思います。

○金光学園中学・高校に足を踏み入れた瞬間、整えられた構内の風景に、中国の学校との違いを覚えました。

歓迎会では先方の学生、先生方に温かく迎えてもらいました。

グループ交流では、にぎやかなグループに招き入れられました。言葉に頼った交流では難しいところもありましたが、ジェスチャーを使っただけの交流になると、すっかり打ち解けることが出来ました。日本では何が流行っているのか教えてもらい、私も楽しく交流することが出来ました。音楽の授業では、先生の澄み切った歌声を耳にした瞬間、素晴らしい先生であることが分かりました。美しいメロディの歌も歌いましたし、リズムゲームでは、思わず笑みがこぼれてしまいました。英語の授業では、平凡で退屈な英語の授業ではなく、ゲームを使った内容で、とても興味深かったです。多くの部活動があり、まだまだ見学したいと思っているうちに、訪問終了の時間となってしまいました。

○日本人の非常に温かいおもてなしの心が、今回の訪問で一番印象に残りました。島でのホームステイ体験は、素晴らしいものでした。青い海とヨットのある港、延々と続く砂浜は、まるで絵のようでした。島の人々は、農業や釣りで生活し、船だけが頼りの生活ですが、穏やかな日々を過ごしていました。ホームステイ先も非常に趣のある、温かいご家庭でした。

帰国後、日本人のおもてなしや、ゴミの分別に細かい点などを、周りの人に伝えたいと思います。

○美しい土地と、おもてなしの心を持った日本を訪問し、日本の科学技術、歴史、伝統工芸、文化、国民性など、理解を一層深めることができました。日本の文化が与える影響、礼節をわきまえる文化や教育、茶道、剣道など、すっかり日本の魅力にとりつかれました。今回の訪問では視野も広がり、また、学校訪問、ホームステイ等、日本人の生活を身近に体験できました。同時に、人々の温かい心と勤勉な様子などを窺い知ることが出来ました。

今回の訪問は日本に対する見方が変わってしまうほど、実り多いものとなりました。帰国後、今回の訪問で学んだことを周りの人々にも伝え、もっと多くの人々に日本文化などを理解、体験してもらえよう、努力していきたいと思います。

○以前から、人に優しい日本のデザインについて聞いていましたが、今回の訪問で、身を持って体験することができ、大変感慨深かったです。至る所に見られるバリアフリーのスロープから、飛行機内のエンターテインメントシステム、また、消防隊員が破っても怪我しにくい特殊窓ガラス等に至るまで、日本人の日常生活のあらゆる細かい点において、気分よく、かつ使いやすい設計で溢れていました。これは単に、気分よく使えるというだけの話ではなく、生活の中のあらゆる細かい点にまで、日本人全体の生活態度が表れているということだと思います。細部から全体を見ることができる、日本人の繊細さ、思いやり、職業を尊ぶ精神には大変感心しており、私たちが大いに学ぶべきところです。

日本人の生活は、秩序的で、全てがきちんと整っています。環境を大切に、他人に迷惑を掛けないといった日本人固有の観念は、日本人の行動に表れていました。路上にはゴミ箱が見当たらず、各家庭では、ゴミをきちんと分別してから出すのが当たり前です。真面目に仕事をこなす精神、真心こめて客をもてなす精神、礼儀正しく人に接する精神、人に優しい商品設計など、日本人の性格が表れており、非常に感心しました。

○（１）大東文化大学にて：

チアリーダーの皆さんは情熱なパフォーマンスを披露してくれました。終始笑顔を決やせずに、時には全力で喚声を上げ、最後は汗びしょりになりながら、披露してくれました。皆さんの全力を尽くす精神に感心しました。

（２）社会福祉について：

日本は本当に、人に優しい社会を実現していると思います。お年寄り用の福祉用具を体験し、お年寄りと障害者が、よりスムーズに生活を送れるよう、政府と民間が力を合わせ、様々な対策をとっていることが分かりました。

（３）科学技術について：

身近に日本の「匠の精神」を感じる事が出来ました。

（４）仕事に対する姿勢について：

店員さんがクレープを作ってくれた時の出来事なのですが、最初に出来上がったものは、見た目が良くなかったため、廃棄されていました。結局、3つ目まで不良品となり、最後に完璧な完成品だけ渡されました。食べてみて、原材料もトッピングも高品質のものを使っているのが分かりました。

（５）ホームステイで感じた日本人の教養の高さ：

ホストファミリーのお誘いで、近所のおばあちゃんたちが集まってくれ、一緒に交流しました。おばあちゃんたちは皆、好奇心旺盛で、中国にも興味を持ってくれ、中国に関する会話が弾みました。皆さん、車の運転ができて、今の生活を楽しんでいました。

○日本人は何に対しても、整然と秩序立っており、お手洗いで、きちんと列に並びます。町が変われば雰囲気も変わりますが、賑やかな東京にしても、静かな長崎にしても、調和が保たれ、穏やかな空気が流れています。日本は緑化が進んでおり、至る所に草花と樹木が植えられています。スモッグはほとんどありません。町並みは大変綺麗で、ゴミ箱が少ないのですが、道端にゴミは、ほとんど見られませんでした。

また、今回の訪問で、異文化を体験することが出来ました。例えば、中国の大学ではあまり見ることができない「チアリーダー」のパフォーマンス。また、浅草寺では、着物や、刺繍、匂い袋など、日本の伝統文化にも、触れることが出来ました。

学校交流においては、日本の高校生の情熱、親切さや友好的な点が大変印象深かったです。お別れの時は、私たちが見えなくなるまで見送ってくれました、中には、私たちが乗っているバスを追いかけてまで、見送ってくれた人もいました。高校生が部活に熱心な点も、とても印象に残っています。

今回の訪日で、真の日本の姿を目の当たりにしました。中国に欠けている点を気づかせてくれました。日本の進んでいる制度と、科学技術を、もっと学んでいきたいと考えています。